

2021. 1. 25

NPOフォーラム・だより No.94



NPO法人安房文化遺産フォーラム (代表 愛沢 伸雄)

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX : 0470-22-8271

Eメール awabunka.npo@gmail.com 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中! 年会費=正会員 A:10,000円(総会議決権あり)・準会員 B:2,000円・法人 10,000円
(ゆうちょ銀行口座: 00260-1-97307 名義 NPO法人安房文化遺産フォーラム)

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行(パンデミック)は、安房地域でも介護施設や病院の集団感染なども広がり、心配な状況が続いていますが、不安や恐怖(邪念)は病気の引き金になりかねません。心の健やかさと希望を失わず、慎重に気をつけながら、笑顔で過ごせますよう祈っております。



スタディツアーがほぼ皆無となり、皆様がガイドとして活躍する場が少なく残念ですが、事務局では、調査研究やホームページ作成などを粛々と進めています。「自宅でPC入力ならできるよ」という方は、お手伝いいただければ助かります。

またNPO運営も厳しい状況ですが、皆様の温かいご支援と国の持続化給付金で何とか乗り切っています。会費未納の方には伝票を同封しますので、ご入金のごほど、どうぞよろしく願いいたします。

千葉県歴史教育者協議会 研究集会・オンライン開催

2月23日(火祝) 13:00~16:00

コロナ禍につき、今年度の研究集会はオンライン開催(ZOOM)のリモート講座となり、7分科会で3つずつの報告です。安房支部(NPOフォーラム)からは【地域】分科会において、池田恵美子・粕谷智美の連名でレポート発表をします。

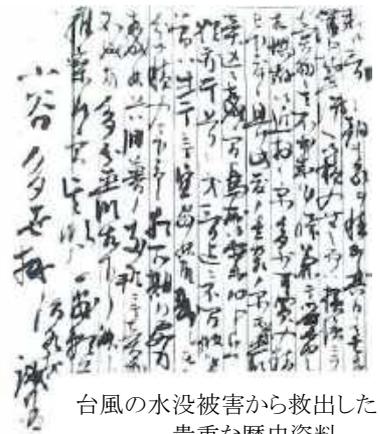
視聴会を開催しますので、聴講希望者は参加費無料・2/1 締切で、NPO事務局までお申し込み下さい。会場(事務所 or 公民館)は参加人数によって決定し、連絡します。遠方の方は自宅で参加できるように登録することもできます(各分科会・定員10名)。

各報告は50分(発表30分+質疑応答20分)、詳細はHPでご確認下さい。【地域】分科会は下記内容です。

- ① 13:10~14:00 (船橋支部)
「関八州に於ける徘徊浪人と村々の関わり」
- ② 14:10~15:00 (安房支部)
「明治期に渡米したアワビ漁師移民の古文書調査」
- ③ 15:10~16:00 (船橋支部)
「松戸の戦争碑から見る忠魂と慰霊(仮)」



インターネットがない方も、
気軽にオンライン講座を
体験参加してみませんか。

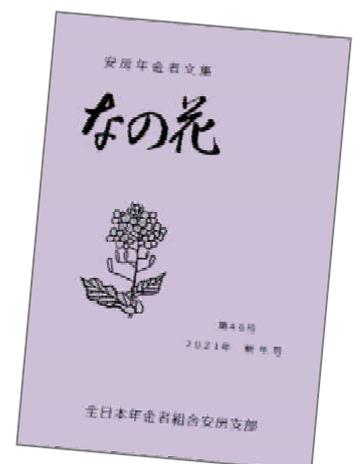


台風の水没被害から救出した
貴重な歴史資料

◇ 年金者組合文集「なの花」第46号(2021年1月) 300円

年金者組合安房支部発行の文集「なの花」は、NPOフォーラムが編集をお手伝いしており、多くのNPO会員も執筆しています。ぜひご一読下さい。

- ・鈴木 政和 「渡米した房総アワビ漁師の古文書調査」
- ・粕谷 智美 「コロナ禍で続くウガンダ支援コーヒー」
- ・池田恵美子 「版画家・秋山巖 生誕百年に想う
～館山の空を飛んだ元落下傘兵」…ほか多数

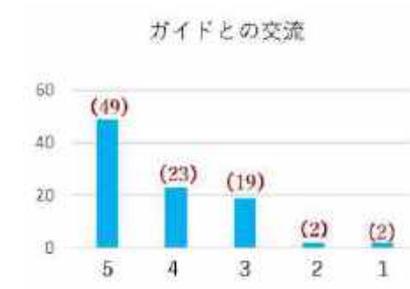
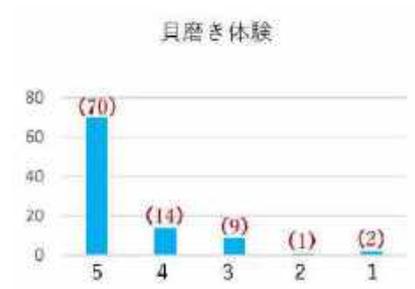
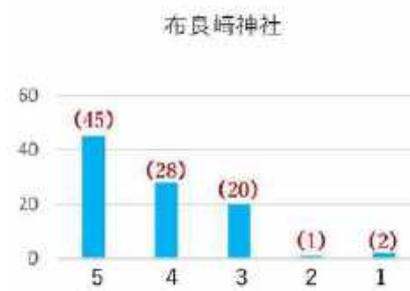
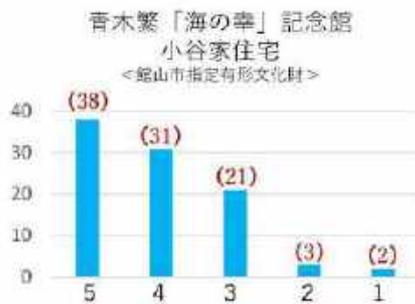
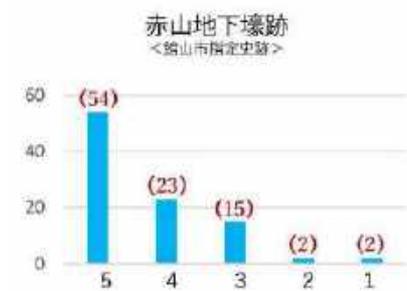


*館山総合高校1年生 99 名が「観光の学び」 NPO フォーラムのガイドで地元観光をめぐる

魅力ある学校づくりの一環で2015年から続く「観光の学び」。コロナ禍の合間で11月10日に事前学習の講義、13日に市内観光ツアーを実施しました。

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、安房高等女学校木造校舎を愛する会の協力も得て、総勢20名のガイドスタッフで案内。戦争遺跡「赤山地下壕跡」や青木繁「海の幸」記念館と記念碑、布良崎神社をめぐり、旧安房南高校木造校舎では、貝磨きアクセサリー作りの体験を福田康孝さん（世界チャンピオン・NPO会員）の指導で楽しみました。

コロナ禍の楽しいひとときとして概ね好評でした。アンケート結果はグラフをご照覧ください。



*千葉市の小学生 100 名 大房岬で平和学習オリエンテーリング

11月29日、大房岬の戦争遺跡群（砲台跡や弾薬庫、探照灯、人間魚雷の特攻基地など）を4～5人グループでめぐるオリエンテーリング形式の平和学習を実施。

NPOの座学を聞いた校長先生は、「これまで毎年来ていたけれど、こんなに深い歴史があることを初めて知った」と感激されていました。千葉県内の子どもたちは皆、館山・南房総の平和学習に来られるといいですね。



*高校生 6 人が NPO に入会、ユースチームとして活躍！

館山総合高校から1年生と3年生が各2人、安房高校1年生1人、安房西高校3年生1人が学生会員（ユースチーム）として入会しました。早速、ガイド見習として大房岬に参加。ご苦労様でした。

***ウガンダコーヒー月間キャンペーン**

高校生が中心となって26年続いているウガンダ支援交流。2020年10月、協賛26店舗で展開したキャンペーンは、ウガンダコーヒーの流通による支援金74,100円と寄付19,312円が寄せられました。夏に開催された【安房・平和のための美術展】のチャリティ基金と合わせて、例年通り1,000ドルが準備できました。これに、ハンドメイドの小物を仕入れる準備金を合わせて1,200ドルを送金する段階で、手続きエラーとなってしまいました。困っていたところ、ウガンダ駐在の日本人・薮大輝(しとみだいき)さんに縁が繋がりが、CUFI(ウガンダ意識向上協会)代表のセンパラさんに直接手渡して下さいました。ありがたいことです。

また、館山総合高校のユースチームから「コロナ禍でお家時間の増えた今、ウガンダコーヒーで癒されて支援につなげよう」と前向きな校内販売の提案があり、相談中です。NPOでも通年販売しています。(100g550円・500g2,100円)

***ウガンダの状況**

~コロナ禍と大統領選挙~

脆弱な医療体制に加え、収入の手段を失った人が多く、深刻な貧困が蔓延しており、新型コロナ感染前に飢餓のリスクが大きいとのこと。CUFIでは弱い立場の方たちに、食糧や医療ケアが届くよう、手を差し伸べています。

また、35年独裁政権の続くウガンダでは大統領選挙に向けて、昨年より対立候補の不当逮捕や暴動が起きています。最近では、国民のSNS(ツイッターやフェイスブック)がブロックされました。海外送金のエラーもその関係かもしれません。

1月の選挙では、現職のムセベニ大統領が勝利しました。しばらくは反乱や抑圧も心配ですが、安寧を祈りましょう。

***立教大学・和田悠ゼミの
オンライン授業**

立教大学文学部教育学科、和田悠教授の共編著『子どもとつくる平和の教室』に収録の「安房の高校生から始まった平和活動」を題材としたリモート講義に、NPOフォーラムの池田恵美子と粕谷智美がゲスト講師として参加しました。

大学生らは、高校生が26年もウガンダ支援を続けてきたことに驚き、質疑や討論を深めました。



***橋本芳久 写真展**

写真集「自然に魅せられて」発行記念
2021.2.14 ~ 2.23
会場：アートスペース風
(南房総市千倉町大川 970-1)

***NPOフォーラム理事**

熊本県立大学・鄭一止 準教授

東京大学大学院留学中、「館山まるごと博物館」をテーマに博士論文を執筆。エコミュージアムの研究者として日韓の架け橋。

在日韓国人である私に政治や歴史について意見を求める方がたまにいます。最初は、韓国で学んできた知識を基に自分なりに意見を伝えようとした。しかし背景や立場の違いもあり、お互い気を悪くするばかりだと気づいてからは、相手の話を聞くだけにとどめていました。

ところが10年ほど前、千葉県館山市の「NPO法人安房文化遺産フォーラム」が主催するピースツアーに参加したことで、私の歴史に対する見方はがらりと変わりました。館山には従軍慰安婦の鎮魂碑があります。日本人の元従軍慰安婦が戦後、婦人保護施設

一筆



県立大環境共生学部准教授
鄭一止
チョン イルジ

歴史のいろんな顔

設で自らの体験を告白したことをきっかけに建てられました。辛くて何も言えなかった女性が施設で心を癒やされ、やっと声を出せたのです。

私は日本人の従軍慰安婦がいたことすら知りませんでした。もっと衝撃だったのは、日本の人々が、韓国も含め各国からの従軍慰安婦を慰霊しているという事実。さらに、戦争遺跡や、江戸時代にハンゲルを含む4カ国語を刻んで建てられた「四面石塔」などの平和遺産を守るフォーラム

の活動に感動し、ツアーの間ずっと泣いていました。

フォーラム代表の愛沢伸雄氏たちは、世界史と地域レベルの二つの観点を取り入れながら、地元のさまざまな関係者を語り部としてまち案内を実施しています。歴史の大きな出来事よりも一般市民の体験や記憶にフォーカスを当て、いろんな側面から立体的に歴史を見ようとしているのが特徴です。歴史のいろんな顔を見たい方は、館山を訪ねてみてはいかがでしょうか。

青木繁「海の幸」オマージュ色紙展

～チャリティ・オンライン展覧会～ 2020.12.28 ～ 2021.2.28

【開催概要】 青木繁「海の幸」記念館の管理運営の一助として、全国の美術家の皆様のご協力により企画され、コロナ禍のためオンライン開催となりました。ぜひインターネットでご鑑賞下さい。**販売代金は各1万円**（額なし）です。会期終了後、複数希望者が重なった場合は抽選で購入者を決定しお知らせしますので、**希望作家名を第三順位まで**ご指定のうえ、住所・氏名・連絡先をメールまたはFAXにてお申込み下さい。精算は、作品発送時に振込伝票を送付しますのでご入金をお願いいたします。

メール awabunka.npo@gmail.com TEL&FAX:0470-22-8271

(作家名 50 音順・敬称略)



秋山 巖

「雪ふりしきる(山頭火)」



小川 幸治

「上野の櫻」

～青木の学んだ上野～



狩野 裕子

「夕日」



川村 良紀

「海が見えた」



櫻井 孝美

「富嶽・暁」



佐藤 一郎

「櫻花」



須藤 美保

「ストック」



榎崎 重視

「犬吠晨」



福田 玲子

「花咲カニ」



松川 佐世子

「母校・安房南高校」



松田 圭人

「ゆかたの女」



光行 洋子

「コンポジション」



山口 マオ

「マオ猫のいる海の幸」



吉武 研司

「太陽のように 2019」



渡辺 徳子

「孤島」

締切 2/28



<https://awa-ecom.jp/aoki-shigeru/>